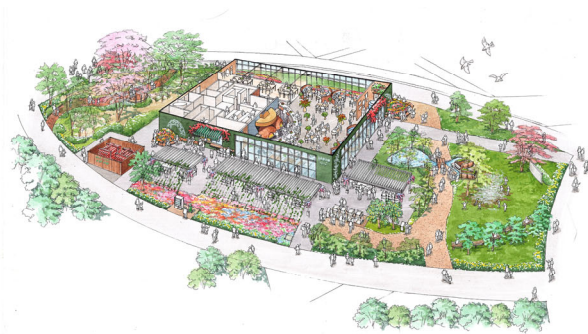


**「2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)」に
サステナビリティ活動ショーケース
「SUNTORY GREEN GO ROUND」を協賛**



サステナビリティ活動ショーケース「SUNTORY GREEN GO ROUND」ロゴ・イメージ

サントリーグループは、2027年3月19日（金）から9月26日（日）まで神奈川県横浜市の旧上瀬谷通信施設で開催される「2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)」会場内「農と食ビレッジ」において、当グループのサステナビリティ活動を五感で体感いただけるショーケース「SUNTORY GREEN GO ROUND」を協賛します。水資源、次世代エネルギー、農業ソリューションの3テーマに関する当グループの取り組みを、展示や体験を通じて紹介します。

なお、当グループは同博覧会に「にぎわい創出プロジェクト ゴールドパートナー」として参画することを2026年3月に発表しています（ニュースリリース No.15001 参照）。

●サステナビリティ活動ショーケース「SUNTORY GREEN GO ROUND」

主な協賛内容

テーマ	持続可能な資源調達・資源循環	
面積	1,650 m ²	
場所	「農と食ビレッジ」	
協賛内容	水資源	●<u>サントリー 天然水の森</u> ●<u>都市型グリーンインフラ「雨庭」</u>※1
	次世代エネルギー	●グリーン水素を活用した調理 (ショーケース内レストラン) ●<u>次世代太陽電池（カルコパイライト太陽電池）</u>※2を <u>活用した自動販売機</u>※3
	農業ソリューション	●<u>残渣をアップサイクルした再生農業用資材</u> ・<u>高機能バイオ炭</u> ・<u>ピートモス代替園芸資材「Teamoss」</u>^{ティーモス} ・<u>超吸水性ポリマー「E F ポリマー」</u>

※1 グリーンインフラは、自然環境が持つ多様な機能を活用し、雨水浸透、流出抑制、生物多様性保全、景観向上、気候変動等の社会課題の解決を図る考え方や取り組み。雨庭とは、その取り組みの具体策の一つであり、屋根や舗装面に降った雨水を下水道へ直接流さず、一時的に溜めてゆっくりと地中に浸透させる植栽空間を指す。

※2 次世代太陽電池は、軽量で曲げることが可能、かつ屋外耐久性や耐衝撃性に優れているという特長を持つ。今回の稼働にあたっては、副電源も合わせて使用予定。

※3 「SUNTORY GREEN GO ROUND」内外に1台ずつ設置予定

なおサントリーグループは、会場内外の飲料自動販売機の設置・維持・商品管理を行い、来場者への飲料提供を通じ、博覧会の円滑な運営にも貢献していきます。

サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命の輝き』をめぐす。」をパーパスとし、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

今回の「GREEN×EXPO 2027」への参画を通じて、来場者の皆様に当グループのサステナビリティ活動を体感いただける機会を創出するとともに、日本政府が推進するグリーントランスフォーメーション（GX）にも寄与し、人と自然が共生する豊かな未来の実現に向けて貢献していきます。

▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/sustainability/>

水と生きる **SUNTORY**

以 上

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。

さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。

社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。

「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。